

にほん かいだん  
『日本の怪談』  
いながわじゆんじ  
稲川淳二

にほんじん だれ ひと かいだんはなし し  
日本人なら、誰でも、一つぐらいは怪談 噺 を知っている。

こども ころ じい ばあ き むかし よつ やかいだん ゆうめい かいだん  
子供の頃、お爺さんやお婆さんから聞かされた、昔 ばなしもあれば、「四谷怪談」のように有名な怪談  
もあって、日本の夏には欠せない風物詩の一つとなっていて、日々の生活の中で、ごく自然に身の回り  
にある、日本の文化なんですね。

こわ はなし こと かなら たた おそ しかえ う  
それは、怖い話 でありながら、そんな事をしたら、必ず 崇られて、恐ろしい仕返しを受けるぞ、という。  
ひと として、やっちはいけない事への、警告であったり、“いいね。これは絶対に守るんだよ”という決りが  
あって、

“もし、破ると、大変な事になるからね”といったような教えもあるんですが、裏を返せば、人間社会での  
まも べきルールとか、じゃくしゃ おも や にんげん そんげん かな いか それ な かく  
守るべきルールとか、弱者への思い遣りとか、人間の尊厳といったもの、悲しみや怒りが其と無く隠さ  
れているんです。

かいだん ことわ むかし こどもたち かいだんはなし き ひと きょういく  
怪談は、ただ怖いだけじゃない。だから昔 から、子供達に怪談 噺 を聞かせては、人としての教育もし  
ていた訳なんですよ。

ただの娯楽というだけではないんですね。

たとえば、日本には古くから各地に、河童伝説があるんですが、そんな中に、誰でも知っている、

“烏が鳴くからかーえろ”

という昔 から子供達に歌われてきた、童歌 があるって、

“烏達が「カアカア」と鳴いて、山に帰ったら、遊びをやめて帰るんですよ。

からす な かえ わす あそ かつば こども あし ひ ば みず なか ひ ず こ  
烏が鳴いても帰るのを忘れて遊んでいると、河童の子供に、足を引っ張られて、水の中に引き摺り込  
まれるからね”

という話が、言い伝えられていて、夕焼け空、烏が鳴きながら飛んでゆくと、子供達は、ごく自然に遊  
びをやめて、口々に、

“烏が鳴くからかーえろ”

と歌いながら、家路につくんですが、これには訳があるんです。

むかし え ひと こどもたち ひるまあそ かげ かつば こども のぞ え  
昔の絵に、人の子供達が昼間遊んでいるのを、よしずの影から河童の子供がそっと覗いている絵が  
あって、その次に、夕焼けの下で、人の子供がいなくたつた跡で、河童の子供が、遊んでいる絵がある  
んです。

また、夕陽が大分傾いていて、小さな影絵のような子供達が4人、横に並んで手を繋いでいて、その  
かげ じめん おお なが の うつ なが ひと かつば かたち  
影が地面に大きく長く伸びて、映っているんですが、その中の一つが河童の形 をしているんですね。

でもそれは、河童の子供じゃないんです。この河童の子供というのは、実は体に障害のある子供達や、  
ち え おく こども  
知恵の遅れた子供たちなんですよ。

からす な やま かえ ゆうひ のこ あそ  
烏が鳴いて山に帰っても、まだ夕陽が残っていて、遊べるんです。

この時間を、障害のある子供達に使わせてやろうという、思い遣りなんですよ。

また、日本の怪談には、欠せない気配。

め み かげ つめ かす におい きせつ けはい かん へ や びょうにん ねむ  
目には見えない風の冷たさや、幽かな匂に、季節の気配を感じたり、部屋で病人が眠っていれば、  
へ や のぞ ふすま みみ よ ねいき きこ  
部屋を覗かずにそっと襖に耳を寄せて、寝息が聞えたら、

ねむ あと  
“眠ってるようだから、後にしようか”とか、

きやく き だんな なに こ い はなし ちゃ も き おく  
お客が来ていて、旦那さんと何やら込み入った話をしているようなので、お茶を持って来た奥さんが、  
しょうじ そと た しょうじ うつ かげ み だんな はい こえ か  
障子の外で、どうしたものかと立っていると、障子に映った影を見て、旦那さんが、“お入り”と声を掛け  
るといった、日常の生活の中で、昔からごく自然につちかわれてきたものなんですね。

へん にほん かいだん おお ちが  
この辺が、日本の怪談と、アメリカのホラーの大きな違いなんでしょうね。

め み おそ か きょうふ けはい きょうふ  
目に見えて襲い掛かってくるものの恐怖と、気配の恐怖。

きょうふ しつ ちが  
恐怖の質が違うんですね。

こいずみ やくも かいだん がた も にほんじん かんせい  
小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、怪談を、あなた方が持っていない日本人の「感性」だとヨーロッパ  
しょうかい  
に紹介しているんです。